

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(750)8025
担当部課名	総務部	総務課市史編さん室	課	
事務事業名	市史編さん事業		事業コード	16210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	彩りのある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第2節	郷土意識づくりの推進	13年度
施策名	第1施策	郷土意識の醸成	

2 実施根拠及び関連法令等

附属機関の設置に関する条例、相模原市市史編さん審議会規則、相模原市市史編集委員会設置要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
平成16年に市制施行50周年を迎えるに当り、新たな視点から市域の歴史や現状を見つめ直し、市民の協力を得ながら、親しまれる市史続編を刊行するとともに貴重な自然や文化遺産を市民の共有財産として継承していく。		市民全般	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 市史編さん審議会の設置(委員構成 公募市民2名、学識経験者8名)会議開催4回(委員報酬 466千円) 審議会の答申を受け、「相模原市史続編編さん基本構想」を策定した。 資料の収集整理を進めた。(市史資料調査員謝礼 2,600千円) 市史編さん室開設に伴う備品、参考図書を購入した。(備品購入費 3,470千円) 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	相模原市史続編編さん基本構想
		計画年次	13年度～26年度
		既刊の市史でふれていない昭和20年8月以降の現代史や各分野(考古・民俗・自然等)について、市史続編全10巻を刊行する。平成16年11月に第1巻の刊行を目指す。また、収集した資料の保存と活用を図る。	

4 評価指標

指標名	市史刊行率		
指標式	刊行済み市史巻数 / 10巻 × 100		
指標設定の意図	続編刊行の予定数である全10巻のうち何巻刊行したかにより成果を表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		9,260	9,848	18,668
	人員・時間数		(4.0人)	(4.0人)	(6.0人)
	人件費		32,423	33,680	47,103
	その他経費				
	合計	0	41,683	43,528	65,771
特定財源					

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか

評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$		$\frac{c}{d} \times 100 =$
		$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	事業の性格から年度ごとの目標は設定しにくい、達成度もとらえにくい。平成13年度は基本構想の策定など目標を達成したが、平成16年11月の第1巻発行まであと2年しかなく、日程的にはたいへん厳しい状況にある。	

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か

評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	時代の変化に適応した親まれる市史の刊行が求められている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	事業全体としてはコスト意識をもって進めなければならないが、短期的な費用対効果は判断しにくい。特に、学術的な調査・研究に関しては経済性・効率性で論じられない面がある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	代替の可能性はないが、資料提供や調査など、内容により市民の参加・協力を求めていく必要がある。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか

評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	事業を開始したばかりなので、市民からは評価というより期待されている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	郷土意識の醸成には有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p>
	<p>他自治体の同種事業はいずれも遅れ気味で、計画変更する例が多い。</p>		
	<p>市史続編編さん基本構想の理念と刊行計画に従って事業を進める。</p>		

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	説明
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--